

JR松橋駅周辺整備に係る これまでの検討経過等

平成29年11月
宇 城 市

JR松橋駅周辺整備に係る検討経過

1

経緯・目的

- 平成20年度に基本構想、基本計画を策定。当初は九州幹線駅(退避駅)を誘致し、駅西側を定住拠点エリア、東側を商業エリアとした大規模な計画を策定。
- 基本構想の中では、松橋駅を市の玄関口としたまちづくりを目指し、鉄道で分断されている東西の行き来を容易(道路新設、駅舎通路)にし、駅を中心とした東西エリアが一体となった中心市街地の形成を目的とした。

基本構想策定時の市民ニーズ(H21年1月)

◆必要な取り組み(上位3傑)

- ①アクセス向上・駐車場の整備
- ②駐輪場の整備
- ③歩行区間の整備

◆必要な施設(上位3傑)

- ①交流の場、コミュニティ施設
- ②避難機能を備えた公園
- ③喫茶、レストラン

◆将来イメージ

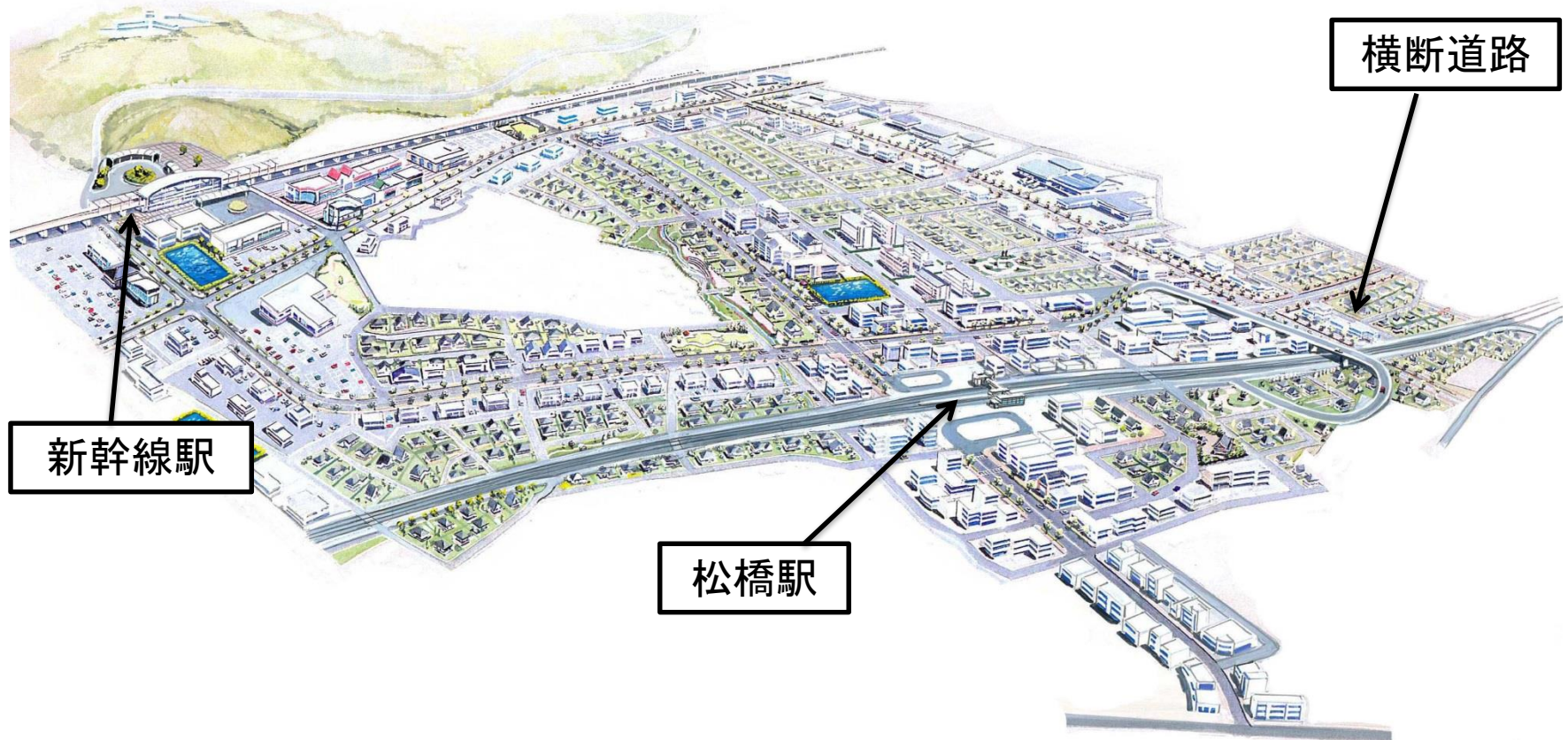
- 【駅東】①魅力ある店舗、施設の立地
②まちなみ・景観の整備
- 【駅西】①新たな住宅・環境を整備し人口増加
②まちなみ・景観の整備



H21年度 住民説明会開始

H22年度 駅前広場概略設計、第1期社会資本整備総合計画(国庫補助関係)作成
ハード事業10計画 ソフト事業3計画

※詳細については、別添資料①参照



ハード事業10計画

- ・ 松橋駅自由通路整備
- ・ JR松橋駅舎整備
- ・ 駅東西広場整備
- ・ 駅通り景観整備
- ・ 塚原柏原線整備
- ・ 排水対策事業
- ・ 御領駅前線整備
- ・ 駅西区画整理事業（組合施行）
- ・ 駅西区画整理事業（代行施行）
- ・ 民間開発促進

ソフト事業3計画

- ・ 空き店舗利活用支援
- ・ 駅前商店街イベント支援
- ・ 駅周辺地域まちづくり勉強会

JR松橋駅の現在の整備状況

平成20年度に基本構想を策定し、住民説明会を行い整備を進めてきたが、新幹線駅の誘致が出来ず、西側の整備構想を中心に計画の見直し(縮小)された。

また、国の補助金(社会資本整備交付金)も、年々縮小傾向にあり、当初計画通り実行ができていない。

整備済及び整備中の主な事業

- 自由通路の整備
- 駅前広場整備
- 駅西口・駅東口の駐車場、駐輪場整備
- 駅舎の改築(橋上駅)

事業中止及び未着工事業

- 新幹線駅の建設
- 鉄道横断道路の整備
- 駅西側の区画整理(住宅用地の整備)
- 排水対策事業 ...未着工

※詳細については、別添資料②参照

現在の成果

- ・自由通路の整備やエレベーターの整備、駅舎の改築により、歩行者の安全性や快適に対する機能が確保された。

課題

- ・駅東口は広場が狭く、各種車両が交錯し、歩行者動線が確保されていない。
- ・交通結節拠点として、観光情報等の発信や松橋駅周辺地区の回遊性を創出するための情報発信機能が整備されていない。
- ・駅を利用する人の憩いスペースの機能に加え、安全・安心な市街地の形成や子育て世代が気軽に遊べる空間の整備が必要。

濱まち再開発計画

- ・平成23年度に国の補助事業を活用し、松橋駅周辺の「濱・まちおこし会」が主体となり、商店街の区画整理や再開発ビルの建設等を構想する等の開発計画を作成した。
- ・場所は、松橋駅前交差点から東側170mの県道沿いのエリア。※以下の地図参照
- ・地元主体で、計画まで作成したが、資金面で難航し事業着手までは行っていない。

